

Title	続・インドネシア語の前置詞UNTUKの”untuk+動詞”における願望標示機能について
Author(s)	松野, 明久
Citation	大阪外国語大学学報. 66 p.39-p.50
Issue Date	1984-11-30
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/81016
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

続・インドネシア語の前置詞UNTUKの “untuk + 動詞”における願望標示機能について

松 野 明 久

More on the Optative-Marking Function of UNTUK in “untuk + verb” in Bahasa Indonesia

Akihisa Matsuno

In my previous article I discussed some cases of Optative-Untuk, in which the use of *untuk* brings such semantic features as desire, purpose and future (which I call “Optative” in broad sense). This paper presents further evidences on Optative-untuk and explains semantic differences brought about in the particular sentence patterns. They are “mampu (untuk)”, “bermaksud (untuk)”, “bernafsu (untuk)”, “berhak (untuk)”, “berani(untuk)”, “malu (untuk)”, “bersemangat (untuk)”, and “siap (untuk)”.

1. はじめに

拙稿（1984）では、ある特定の動詞（または形容詞）につづく動詞に前置される *untuk* が願望（欲求、未来、意志、目的を含む）の標式であることを仮説として提起し、いくつかの文パターンについてそれを検証した。本稿ではひきつづき同じ仮説を、残りの文パターンについて検証する。

2. mampu + (untuk) + 動詞

untuk を用いた文は少ないながら存在する。

1. Ia merasa tak mampu *untuk* membagi selera rakyat itu. (CDK, 41)¹⁾

彼はその民衆の感覚を共有できないと感じている。

2. Saudagar itu menyekolahkan anak-anaknya dengan baik, sehingga mereka mampu *untuk* tidak hanya sekedar menjadi saudagar babi. (STN, 28)

その商人は子供たちにしっかりと教育を受けさせたので、子供たちは豚を扱う商人にな

る以上のことができるようになった。

untuk を用いない例は数多くあり、むしろほとんどがそうだと言える。参考までに以下に例文をあげる。

3. Mungkin kau benar, tapi belum mampu ϕ membuktikan kebenaranmu. (ASB, 194)
君は正しいかもしれないが、まだ君の正しさを証明できていない。

4. Aku tak mampu ϕ tidur, walaupun sudah berusaha susah payah. (PBR, 28)
一生懸命努力してみたが、寝れなかった。

5. Rumah yang mampu ϕ melindungi mereka terhadap hujan dan matahari. (KNG, 33)
雨や日差しから彼らを守ることでできる家。

上の例文及びその文脈からすると、untuk を用いた場合、その動作をまだやってみたわけではないが、その時点の状況からしてやろうとした場合にやれる（またはやれない）と述べており、一方 untuk を用いない場合、やれる（またはやれない）ことがすでに試みたかなにかで明々白々であるような印象を受ける。つまり前者では動作の未完了が、後者ではその完了ないしは半完了が含意されていると考えられる。このことは次のような単純な文について、それが使われる状況を調べることによっても確認できる。

6. a. Ia tidak mampu *untuk* mendaki gunung.

b. Ia tidak mampu ϕ mendaki gunung.

彼は山に登ることができない。

インフォーマントによると²⁾、6.a は山に登る前に発話されうる文であり、6.b は、例えば山の途中まで登ってもう登れなくなった時や、登山をころみたが失敗したような時に発話されうる文である。前者は山登りをするための能力の不在を、後者は山登り達成の不可能性を意味している。この場合の untuk は目的、未来ないしは未完了を標示し、ここでいう願望の標式とみなすことができるだろう。以下の文でそのことを検証してみよう。

7. Tahun depan ia akan mendapat sawah 10 ha. Tapi sampai saat ini ia belum pernah bertani.

a. Apakah ia mampu *untuk* menggarap sendiri semuanya ?

b. ?? Apakah ia mampu ϕ menggarap sendiri semuanya ?

来年彼は10ヘクタールの水田を手に入れる。しかし彼は今までに田畑を耕したこと

がない。彼はひとりで全部を耕することができるのだろうか。

7.b. は問題となっている人物がまだ何もしていないこの段階での質問としては奇妙に感じられる。そういう意味で、実際は、7. の日本語訳の最後の文はむしろ「彼にはひとりで全部を耕すだけの力があるのだろうか」とする方がよいだろう。

さて、同じような意味の対立は、*kuasa* + (*untuk*) + 動詞 というパターンにも見いだされる。

8. Sejurus lamanya ia tak kuasa ϕ berkta-kata, melainkan mengalirlah air matanya dengan tak dapat ditahan-tahan. (SA, 189)

しばらくの間彼は何も言うことができなかったが、ただ涙だけがとめどなく流れ出た。

9. Dia ingin sekali lari, tapi pada saat yang bersamaan merasa tak kuasa *untuk* lari, tak kuasa untuk apa saja. (MM, 16)

彼は走りたかったが、同時に、走れない、何もできないと感じていた。

また、このような観点から、次のようなある作品の同じページでほぼ間をおかずあらわれる2つの文における *hendak* と *akan* の交替現象も説明がつく。つまりこの時、作者はなんらかの形式で動作の未来ないしは未完了性を表現すべきだと感じており、それが同一表現の反復をさけるスタイル上の要請から *hendak* と *akan* の二形式を選択せしめたといえる³⁾。

10. Sebab bukankah pertolongan Tuhan baru datang apabila sudah siap tersedia manusia yang mampu *hendak* menerimanya ? (MST, 103)

なぜって、神の救済はそれを受け取ることのできる人間があらわれた時にはじめて訪れるものではないのか。

11. Ya, betul begitu; pertolongan Tuhan baru datang apabila sudah siap tersedia manusia yang *akan* mampu menerimanya (MST, 103)

ああ、そのとうりだとも。神の救済はそれを受け取ることのできる人間があらわれた時にはじめて訪れる……。

3. bermaksud + (*untuk*) + 動詞

untuk を用いた例と用いてない例をあげる。

12. Mungkin orang itu sebenarnya tak bermaksud *untuk* mengatakan apa-apa lebih dari bahwa ia ingin muntah. (STN, 85)

おそらくその人は、実際、吐きたいということ以上のことを言いたかったのではないの
だろう。

13. Tak ada hamba bermaksud ϕ menghina……. (MST, 46)

わたしには中傷するつもりなどありません……。

14. Laki-laki yang bermaksud ϕ mencuri itu, berhasil melarikan diri tatkala orang-orang Tirtoatmojo mau menyergapnya. (PBR, 21)

どろぼうするつもりでいたその男は、ティルトアトモジョの手下たちが捕えようとした時、うまく逃れることができた。

untuk を用いた例は非常に少なく、これだけの例から両形式の違いを導きだすのは困難である。しかし Kamus Umum に見られる次のような意味の分類はわれわれにとって重要である。

bermaksud : 1. berkehendak ; bertujuan ;
mis. ~ menghindarkam rintangan-rintangan ;
~ mempererat persahabatan ; 2. berniat
(hendak) ; mis. ia pun ~ akan mendirikan
partai juga ;

bermaksud : 1. ~したい, ~を目的とする。
例. 障害物をよけたい, 友情を深めることを目的
とする 2. ~したい (hendak)。例. 彼もま
た党をつくりたいと思っている

つまり Kamus Umum によると, bermaksud には目的 (1) や願望 (2) の意味があり, 後者には hendak (ないしは akan) を用いるのである。このことは untuk が願望標式であるという仮説を裏付けるひとつの証拠となるわけだが, 主動詞 (または主形容詞) の意味は一定で untuk はそれにつづく動詞の何らかの標式であるとするわたしの観点とは少し異なって, ここではそれがすでに主動詞そのものの意味の違いとしてとらえられているといえよう。本稿ではあくまで untuk がそれにつづく動詞になんらかの区別をもたらしているという観点から, bermaksud + (untuk) + 動詞における untuk が未来ないしは未完了を標示するという仮説をたてることにする。この仮説と先程の bermaksud の 2 つの意味とは, 実は表裏一体なのだが, なぜなら, たとえ bermaksud を「~する意図 (願望など) をもつ」という単一の意味しかもたないという考えから出発しても, untuk が用いられれば, それは「まだ実現せざる願望」という解釈をうけるだろうし, 逆に untuk が用いられなければ, それは「ある現前する (時に文脈上含意された) 行為の真の意図または目的」という解釈をうけるだろうからである。そのことを以下の文によって検証してみよう。

15. Ada orang yang meraba-raba laci meja.

a. Apakah dia bermaksud mencuri ?

b. ?? Apakah dia bermaksud untuk mencuri ?

机のひき出しをあちこちさわっている人がある。彼はどろぼうするつもりなのだろうか。

16. a. Dia sudah bermaksud untuk kawin, tapi belum ada wanita yang dianggapnya cocok bagi dia.

b. ?? Dia sudah bermaksud kawin, tapi belum ada wanita yang dianggapnya cocok bagi dia.

彼はすでに結婚したいと思っているが、自分に合うと思う女性がまだいない。

15.b.がおかしく感じられるのは、現前する行為の真の意図を問うているはずのところに、それが願望の段階にとどまっているかのような表現になっているからである。一方、16.b.がおかしいのは、「結婚がその真の意図である」と解釈されうような行為が存在しないのに、「結婚するつもりだ」と言っているからである。

4. bernafsu + (untuk) + 動詞

まず例をあげる。

17. Nampaknya orang-orang muda Tionghoa itu bernafsu *untuk* mengejar Jepang. (ASB, 56)

どうやらその中国人の若者らは日本の後を追いたいらしい。

18. Semalam memang terlalu sedikit tidurku. Terlalu bernafsu ϕ menyelesaikan catatan tentang Surati. (ASB, 165)

もちろん昨夜はほんのわずかしが寝なかった。スラティに関するノートを書き終えるのにあまりに精を出しすぎたのだ。

19. Kalau betul laki-laki pencari perkutut itu tidak salah apa-apa, mengapa Kau begitu bernafsu ϕ mencarinya ? (KNG, 69)

もし本当にそのキジをさがしている男に何の罪もないのなら、なぜおまえさんはそんなにやっきになってその人をさがすのかい。

あらかじめ訳しわけているとうり、*untuk* を用いた場合は「～したい」といういまだに果たされない欲求の存在を意味し、用いない場合は「強い欲求をもって～する (した)」という現前する行為に伴う心的状態をあらわしている。ここでも *untuk* は次にくる動詞に未来、未完了の意味をつけ加える。このことを次の文で検証してみよう。

20. a. Orang itu bernafsu untuk mendapatkan hadiah pertama.

b. ?? Orang itu bernafsu mendapatkan hadiah pertama.

その人は一等賞をとりたいと欲している。

21. a. Memang banyak orang yang bernafsu untuk jadi pegawai negeri.

b. ?? Memang banyak orang yang bernafsu jadi pegawai negeri.

もちろん多くの人が国家公務員になりたがっている。

22. a. Dia mempunyai segala macam perangko dari seluruh dunia karena sejak kecil dia bernafsu mengumpulkannya.

b. ?? Dia mempunyai segala macam perangko dari seluruh dunia karena sejak kecil dia bernafsu untuk mengumpulkannya.

彼は小さい頃から熱心に集めていたので、世界中のあらゆる種類の切手をもっている。

23. Setiap hari dari pagi sampai malam dia hanya belajar saja di rumah.

a. Mengapa dia begitu bernafsu belajar ?

b. ?? Mengapa dia begitu bernafsu untuk belajar ?

毎日朝から晩まで彼は家で勉強ばかりしている。なぜ彼はそんなに熱心に勉強するのか。

20.b. と 21.b. がおかしいのは、「一等賞をとる」とか「国家公務員になる」という行為自体がもともと一生懸命にやれるようなものではなく、ふつうはただ願望としてのみありうるからである。また、22.b. と 23.b. がおかしいのは、すでに行なったか現在進行中の行為に対してそれが願望であるかのような言い方をしているからである。

5. berhak + (untuk) + 動詞

まず例をあげる。

24. Karena itu mahasiswa tidak berhak *untuk* mengkritik, hingga aksi mereka pun harus dihentikan. (CDK, 81)

それゆえ学生には批判する権利などなく、したがって彼らの行動も停止されなければならない。

25. Padahal masih banyak orang lain yang jauh lebih berhak *untuk* bersedih ——— tetapi toh mereka diam-diam saja. (STN, 73)

ところがはるかに悲しむ権利をもつ人が他にもまだ大勢いた。しかし、その人たちはだまったままだった。

26. Dia juga berhak ϕ punya pendapatnya sendiri. (ASB, 195)

彼だって自分の意見をもつ権利がある。

27. Dialah yang berhak ϕ mendengar persoalan yang menyebabkan adinda bingung.
(MST, 20)

彼(実際は夫, すなわち自分)こそがおまえを悩ましている問題を聞く権利があるのだ。

berhak の場合, そのような権利が現在すでに存在しているのか, それとも未来において存在するのかという区別が untuk と関係があるように思われる。法律や慣習, 社会的合意にもとづく権利は untuk を用いると奇妙に感じられるようだ。

28. a. Menurut adat sukubangsaku, anak bungsulah yang berhak mewarisi harta orangtuanya.
b. ?? Menurut adat sukubangsaku, anak bungsulah yang berhak untuk mewarisi harta orangtuanya.

多くの部族の慣習では, 親の財産を相続する権利があるのは末子である。

また, 制度的な権利でなくても, その権利の存在ないしは行使が深く現在とかかわっているような場合, つまりその権利が現在において行使されるべきものとしてあるような場合, やはり untuk の使用は排除される。

29. Ah, aku sudah melakukan kebodohan yang besar !
a. Tapi kau tidak berhak mentertawakan aku, karena kau pun pernah melakukan kesalahan yang sama.
b. ?? Tapi kau tidak berhak untuk mentertawakan aku, karena kau pun pernah melakukan kesalahan yang sama.

ああ, ぼくはとんでもないバカをやらかしてしまった。だが君にはぼくを笑う権利はないぞ。君だって同じ誤ちをおかしたことはあるんだから。

しかし, 29. の文について, 今度は前提となる条件をかえて, その権利が未来において生じるという文脈をつくると, 逆に untuk を用いた文が選択される。

30. Ah, mungkin aku akan melakukan kebodohan yang besar !
a. ?? Tapi kau tidak berhak mentertawakan aku, karena kau pun pernah melakukan kesalahan yang sama.
b. Tapi kau tidak berhak untuk mentertawakan aku, karena kau pun pernah melakukan kesalahan yang sama.

ああ, ぼくはとんでもないバカをやらかすかもしれない。だが君にはぼくを笑う権

利はないぞ。君だって同じ誤ちをおかしたことはあるんだから。

以上のことから, *berhak untuk* ~ は未来において生じるであろう権利について用い, *berhak* ~ は現在すでに存在している権利について用いる, といえる。

6 . *berani* + (*untuk*) + 動詞

実際の例をあげる。

31. Tetapi ia tak berani *untuk* merebutnya, takut kalau orang banyak itu kembali menunjukkan perhatian langsung kepadanya. (STN, 77)

しかし彼は, その群衆がまた彼に直接の関心を示すかと思うと, こわくてそれを奪う勇気がわかなかった。

32. Dia memang belum pernah berani ϕ berkelahi. (KNG, 43)

彼は今まで勇気を出してけんかをしたことなどない。

33. Dargo cepat berdiri tapi tak berani ϕ berbuat apa-apa. (PBR, 41)

ダルゴは急いで立ち上がったが, (勇気をもって) 何かをやるということができなかった。

berani untuk ~ は「～するほどの勇気がある」, *berani* ~ は「勇気をもって～する」の意で, 前者では行為の未来, 後者ではその現在性があらわされている。後者の *berani* は次にくる動詞に副詞的にかかっているとも解釈できる。このことを次の文で検証してみよう。

34. a. Kalau kau berani menengkah lagi, kutonjok mulutmu ! (KNG, 39)

- b. ?? Kalau kau berani *untuk* menengkah lagi, kutonjok mulutmu !

今度変なことしたら, 口をぶんなぐってやるからな !

変なことをする気になっただけでぶんなぐられてはたまったものではない。やはりその行為が現実のものとならないかぎりふつうはそうしないわけだから, 36.b. は奇妙に感じられるのである。

7 . *malu* + (*untuk*) + 動詞

まず例をあげる。

35. Ia malu *untuk* membongkar bahwa ia juga kebagian senang di pojok yang gelap itu. (STN, 41)

彼は自分もまたその暗い隅で快樂のわけ前にあずかったのだということを暴露するのがはずかしかった。

36. Aku membuang muka, malu ϕ mendengar pembelaan dan bombongan mertuaku.
(ASB, 178)

ぼくは顔をそむけた。義母の弁明とはげましとを聞くのがはずかしかった。

malu や berani と同じように, untuk を用いない場合は副詞的に次の動詞にかかっているとみなすことができるだろう。malu untuk ~ は「はずかしくて ~ できない」, malu ~ は「~ したのではずかしい, はずかしがりつつ ~ する」の意で, 前者では行為より以前にはずかしさが存在し, 後者では行為が先か同時である。untuk を用いれば行為は malu よりも未来にあることになる。このことを次の文で検証してみよう。

37. Aku lupa mengundang pak Guru.

- a. Aku sangat malu melakukan kesalahan seperti ini.
b. ?? Aku sangat malu untuk melakukan kesalahan seperti ini.

ぼくは先生を招待するのを忘れた。こんな失敗をしでかして大変はずかしい。

38. Kau perempuan yang bodoh sekali. Utung kau bukan isteriku.

- a. Aku malu untuk mempunyai isteri seperti kau.
b. ?? Aku malu mempunyai isteri seperti kau.

おまえは愚かな女だ。おれの女房でなくてよかった。はずかしくっておまえみたいな女房はもてないぜ。

37.b. はもうしてしまったのに未来のことに言っているのでおかしい。38.b. は, 実際は自分の妻でないのにそうであるかのごとく言っているのでおかしい。

8. bersemangat + (untuk) + 動詞

まず例をあげる。

39. Janda itu jadi bersemangat *untuk* bicara. (STN, 67)

その未亡人は話す元気がでてきた。

40. Aku semakin bersemangat ϕ mencatat. (ASB, 160)

ぼくはだんだんと筆が調子に乗ってきた。

bersemangat untuk ~ は「~ するのにやる気になる」, bersemangat ~ は「元気に ~ する, やる気をもって ~ する」の意であり, 前者は願望, 後者は進行中の動作をあらわす。後者では bersemangat は次にくる動詞に副詞的にかかるとも解釈できる。そして2つの動詞の時間的關係について, 前者では前後関係あり (untuk のあとの動詞が時間的に後), 後者では同時的とい

うことが成り立つ。このことを次の文によって検証してみよう。

41. a. Dia bersemangat berpidato, tapi rupanya kurang menarik perhatian para hadirin.

b. ?? Dia bersemangat untuk berpidato, tapi rupanya kurang menarik perhatian para hadirin.

彼は意気さかんに演説を行なったが、どうやら出席者の関心をあまりひいていなかったようだ。

42. a. Dia pun telah bersemangat untuk berpidato, tapi tidak diberi kesempatan untuk itu.

b. ?? Dia pun telah bersemangat berpidato, tapi tidak diberi kesempatan untuk itu.

彼もまた演説をする気になっていたのだが、その機会が与えられなかった。

41.b. はすでに演説をやっていることを含意する文の後半と矛盾するのでおかしく感じられ、42.b. はまだ演説をしていないことを含意する文の後半と矛盾するのでおかしく感じられる。

9. siap + (untuk) + 動詞

まず例をあげる。

43. Daster lusuh yang tersampir di pinggir tempat tidur diraihnya siap *untuk* dipakainya, tetapi entah karena apa daster itu berhenti saja di tangannya kemudian tergeletak di pangkuannya. (SB, 68)

ベッドの端に掛けてあったしわくちやの頭巾を寄せ、かぶれるよう整えたが、なぜかその頭巾はしばらくの間手に握られたのち、ひざの上にひろげ置かれてしまった。

44. Sebagai akibatnya, sering kali kendaraan yang dibutuhkan tidak siap *untuk* berangkat karena ada kerusakan-kerusakan. (PBR, 47)

その結果として、必要とされた車が故障のため出発の用意ができていないということがよくあった。

45. Anak muda itu menelungkupkan badannya lagi, nampaknya siap \emptyset mendengarkan Sri. (SB, 65)

その青年は体をまたうつぶせにした。スリの歌を聞く態勢が整ったようだった。

46. Sedang di sekeliling dan di belakangnya, para prajurit pengawal yang lengkap

dengan senjatanya, siap ϕ menghadang setiap bencana yang mungkin tiba. (MS T, 41)

一方、彼らの周囲とうしろには、武装した監視兵たちが、起こりうるあらゆる危機を回避する態勢を整えていた。

siap の場合、今までのパターンとはややちがった区別が存在する。siap untuk ～ は「～するための準備ができる」、siap ～ は「～する態勢が整う、身構える」と訳せるだろう。つまり前者においては動作を行なうのにまだ間があるが、後者においてはまさに動作を行なわんとするところであり、広く見た場合、その動作の最初の段階にすでにあるといえるような場合もある。この区別を以下の文で検証してみよう。

47. Sekarang bulan April. Nanti dia akan ke Jepang bulan Agustus.

a. Apakah dia sudah siap untuk berangkat ?

b. ?? Apakah dia sudah siap berangkat ?

今は4月だ。8月に彼は日本へ行く。彼はもう準備ができているのだろうか。

48. a. Saya pergi ke depan perlahan-lahan, dan berdiri di depan sebuah meja, siap berpidato.

b. ?? Saya pergi ke depan perlahan-lahan, dan berdiri di depan sebuah meja, siap untuk berpidato.

わたしはゆっくと前に行って机の前に立ち、演説をしようと身構えた。

47.b.は時間的余裕がまだあるのに、今にも出発しそうな表現なのでおかしく感じられる。48.b.はまさに演説をはじめようというところなのに、まだ時間があるような表現なのでおかしく感じられるのである。

10. おわりに

拙稿、本稿と untuk の願望標示機能について、それが個々の文パターンでどのような意味の区別をもたらしているかを論じてきた。以上の例をもってしてすでに明らかなように、untuk は用いても用いなくてもよいのではない。どちらか一方が選ばれるよう文脈を制限できることがその証拠である。

また、untuk の願望標示機能はここにあげたパターンに限られない。主動詞（または主形容詞）とのイディオマティックな共起性が問題とならないような一般的願望標示機能を仮定することも可能かもしれない。それはいわゆる「目的」をあらわす untuk（～するため）との連続性を探ることである。また、拙稿で紹介しながら今回取りあげなかったパターンに memutuskan (untuk)

「～することを決める」がある。この untuk がどのような意味の区別をもたらすのかはつきりとつかむことができなかったからである。今後の課題としたい。

本稿がとった個人の内省に大きく依存する差異発見の方法を問題視するむきもあるかと思う。確かにこのような方法を、インドネシア語のような、それを母語とする言語共同体の存在が不確かな言語に適用することに問題がないわけではない。それは各個人がインドネシア語の文法をどれだけ内面化しているかの判断によるだろう。私はその度合いの高い社会集団があると判断しており、今回はそのような集団からインフォーマントを選んだつもりである。

(注)

- 1) カッコ内の略記号は作品、数字は例文採取頁をあらわす。略記号は一覧表を参照のこと。
- 2) 今回はインフォーマントとして2名の本学留学生別科インドネシア人留学生の協力を得た。Ny.Eniarti D. Budiharga と Ny. Lili S. Danusastro に感謝の意を述べたい。
- 3) 作者であるアイブ・ロシディ氏に例文11の hendak の用法について質問した。氏は現在ではこの hendak はなくてもよいと考えており、使うとすればむしろ untuk の方が適当だという返事を得た。

作品と略記号一覧

- ASB Pramoedya Ananta Toer : *Anak Semua Bangsa*. Hasta Mitra. 1980
CDK Dick Hartoko (ed.) : *Golongan Cendekiawan*. Gramedia. 1980
KNG Iwan Simatupang : *Kooong*. Pustaka Jaya. 1975
MST Ajip Rosidi : *Masyitoh*. Gunung Agung. 1976 (cetakan kedua)
PBR Putu Wijaya : *Pabrik*. Pustaka Jaya. 1975
MM Iwan Simatupang : *Merahnya Merah*. Gunung Agung. 1981 (cetakan ketiga)
SA Abdoel Moeis : *Salah Asuhan*. Balai Pustaka. 1979 (cetakan kesebelas)
SB Umar Kayam : *Sri Sumarah dan Bawuk*. Pustaka Jaya. 1975
STN Putu Wijaya : *Stasiun*. Pustaka Jaya. 1977

参考文献

- 久野 暉 『日本文法研究』大修館、1973年。
—— 『新日本文法研究』大修館、1983年。
松野 明久 「インドネシア語前置詞 UNTUK の “untuk + 動詞” における願望標示機能について」
『大阪外国語大学学報64号』1984年。